

# 保守プランメンバーに関する重要な変更 よくある質問(FAQ) – お客様向け

保守プランの近日実施される変更について、FAQ 形式でご説明します。

英語版の最終更新: 2017 年 9 月 ([「最新情報」を参照](#)してください)

日本語版の最終更新: 2017 年 10 月

## 目次

概要.....	4
1.1 保守プランメンバーに対してどのような変更が行われるのですか? .....	4
1.2 現在契約中の保守プランを更新するとき、どのような選択肢がありますか? .....	4
1.3 今回の変更はすべてのオートデスクのお客様に影響がありますか? .....	4
1.4 保守プランの更新を継続することはできますか? .....	4
1.5 保守プランを更新せず、サブスクリプションへの切り替えも行わずに保守プランが満了した 場合はどうなりますか? .....	4
1.6 今回の保守プランに関する変更は世界中で行われるのですか? .....	5
保守プランからサブスクリプションへの切り替え .....	5
2.1 保守プランメンバーにとって、サブスクリプションへの切り替えにはどのようなメリットがありま すか? .....	5
2.2 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合、どのようなパスがあり ますか? .....	5
2.3 保守プランからサブスクリプションに切り替える場合に、変更できないものは何ですか? .....	6
2.4 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えは、いつから可能になりま すか? .....	6
2.5 保守プランからサブスクリプションに切り替えるにはどうしたら良いですか? .....	6
2.6 保守プラン時に使用していた製品が切り替え先のサブスクリプションに含まれている場合、切 り替え後もインストール済みの永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用できますか? .....	6
2.7 サブスクリプションに切り替えた後、保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデー タは使用できますか? .....	7
2.8 サブスクリプションに切り替えた場合、アプリケーションとデータはクラウドに保存されることに なりますか? .....	7

2.9 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後にそのサブスクリプションが満了した場合はどうなりますか？	7
2.10 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後に、サブスクリプションを別製品に切り替えることはできますか？	7
2.11 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後に、サブスクリプションの契約期間を変えることはできますか？	7
切り替え価格	8
3.1 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合の価格を教えてください。	8
3.2 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えを早めに行うことで、どのようなメリットがありますか？	8
3.3 割引価格を3年間継続させるには、どのような支払いオプションがありますか？	8
3.4 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、4年目以降の更新価格はどのようになりますか？	8
契約管理	9
4.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えると新しい契約番号になりますか？	9
4.2 契約している保守プランのライセンスの一部のみをサブスクリプションに切り替えることはできますか？	9
4.3 切り替え後の新しいサブスクリプション契約と既存の契約の満了日を揃えることはできますか？	9
4.4 サブスクリプションに切り替えた後、購入したクラウドクレジットはどうなりますか？	9
ソフトウェアの管理と使用	9
5.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、前バージョンで使用できる製品はどれですか？	9
5.2 サブスクリプションに切り替えたのち、保守プランで使用しているのと同じバージョンのソフトウェアを継続して使用することはできますか？	10
5.3 インターネットへの接続が制限されている場合、どのようなサブスクリプションのオプションを利用できますか？	10
5.4 サブスクリプションへの切り替え後、新しいバージョンがリリースされるたびにアップグレードしなければなりませんか？	10
5.5 新規サブスクリプションを開始する際に、どのような設定が必要になりますか？	10
5.6 各ユーザーが新規サブスクリプションの新しい製品やサービスを利用できるようにするには、何を行う必要がありますか？	11
5.7 切り替え後、指名ユーザーは新規サブスクリプションに自動的に割り当てられますか？	11

5.8 保守プランがサブスクリプションに切り替えられたことは、どのようにして通知されますか? ....	11
5.9 永久ライセンスを失効したり、サブスクリプションの契約を終了したあとでも、オートデスク製品で作成したファイルを開いたり編集したりすることはできますか? .....	11
5.10 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、サポート特典に何か変更が生じますか? .....	11
5.11 保守プランからサブスクリプションに切り替えた後、追加の情報を得られるサイトはありますか? .....	12

## 概要

### 1.1 保守プランメンバーに対してどのような変更が行われるのですか？

お客様に最大限オートデスクのサービスをご活用いただくため、現在オートデスクはサブスクリプションを通して最新のツールとテクノロジーをお客様に提供させていただいております。サブスクリプションの接続サービスを通じて、機能強化や新機能の提供方法を根底から変えていくことができると考えております。

2017年6月15日以降、保守プランをご契約されているお客様は、契約更新時に特別価格で簡単にサブスクリプションに切り替えることができるようになりました。お客様は、保守プランを契約している製品のシートごとに、一度だけこの特別価格オプションを利用できます。ただし、サブスクリプションへの切り替え価格は2018年に5%、2019年にはさらに5%の引き上げを予定しているため、切り替えを早めに行うことで、コストをより節約できます。また、切り替えた先のサブスクリプション契約は、更新を継続する限り特別価格でご利用いただけます。この特別価格の値段設定は、保守プランの更新価格より安く、また、新規サブスクリプションの価格より大幅に安くなります。このオプションに関する詳細は、「[保守プランからサブスクリプションへの切り替え](#)」セクションを参照してください。

希望するお客様は引き続き保守プランを1年単位で更新できますが、複数年単位での更新はできません。また、保守プランの更新価格が、2018年には2017年の価格の10%、2019年には2018年の価格の20%引き上げられることもぜひご考慮ください。

### 1.2 現在契約中の保守プランを更新するとき、どのような選択肢がありますか？

現在契約中の保守プランを更新する際、お客様には次の3つの選択肢があります。

- 保守プランを契約している対象の単体製品を、同じ製品のサブスクリプションに切り替える
- 保守プランを契約している対象の単体製品またはスイート製品を、業界別コレクションのサブスクリプションに切り替える
- 保守プランを1年単位で更新する

### 1.3 今回の変更はすべてのオートデスクのお客様に影響がありますか？

今回の変更は、保守プランを契約しているオートデスク製品をお持ちのお客様に影響がありますが、オートデスク製品のサブスクリプション(期間ライセンス)をご利用のお客様には影響はありません。

### 1.4 保守プランの更新を継続することはできますか？

はい。保守プランの利用を継続することをご希望のお客様は、引き続き保守プランを1年単位で更新できます。

### 1.5 保守プランを更新せず、サブスクリプションへの切り替えも行わずに保守プランが満了した場合はどうなりますか？

保守プランが満了すると、保守プランを通じて付与される特典をご利用いただけなくなります。たとえば、ソフトウェアのアップデートの入手、前バージョン使用特典、ホーム ユース特典、海外持ち出し特典、技術サポート、クラウド クレジットの利用、クラウド サービスが該当します。また、保守プラン満了後は、割引価格でサブスクリプションに切り替えることができなくなります。

永久ライセンスのソフトウェア使用許諾契約に従い、インストールとアクティベーションが完了しているソフトウェアのうち、最も新しいバージョンを引き続きご利用いただけます。保守プラン契約を通じて提供されていた、より新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてご利用いただくこともできますが、新しいバージョンの利用を開始すると、それ以前のバージョンを使用する権利を放棄したものと見なされます。

例: 現在永久ライセンス 2015 バージョンを使用している。2016 バージョン以降はインストールやアクティベーションは行っていない。保守プランが満了後も、引き続き 2015 バージョンを利用することができる。保守プランの特典で入手した 2016 バージョン以降のものにバージョンアップする際は、2015 バージョンをアンインストールする必要がある。

### 1.6 今回の保守プランに関する変更は世界中で行われるのですか？

はい。この変更は世界中のオートデスク製品を販売している国々で行われます。

## 保守プランからサブスクリプションへの切り替え

### 2.1 保守プランメンバーにとって、サブスクリプションへの切り替えにはどのようなメリットがありますか？

オートデスクは今後もサブスクリプション サービスへの多大な投資を続けます。これによりお客様は、次のような特典を得ることができます。

- **幅広く利用** – ニーズに合わせて最新の革新的ツール、テクノロジー、サービスを、現在そして将来にわたって幅広く利用できます。
- **柔軟な管理** – 適切な製品やアップデートへのアクセス権をチームが必要なときに提供できるため、ユーザー管理やコスト管理が容易になります。
- **役立つデータを収集** – 簡単に使えるレポート ツールや通知機能を使用して、製品の使用状況、コスト、生産性、将来的なニーズを評価、分析できます。

### 2.2 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合、どのようなパスがありますか？

保守プランを契約している製品の数多くが、更新時のサブスクリプションへの切り替えの対象製品になっています。切り替えを希望する場合、切り替えを行うすべてのシートで、その永久ライセンスの権利を放棄していただくこととなります。切り替え対象製品と切り替え先を確認するには、下に示すガイドラインを参照してください。

切り替え元(保守プラン)	切り替え先(サブスクリプション)
単体製品	単体製品か業界別コレクション
単体の LT 製品	同じ単体 LT 製品か LT スイート製品
スイート製品	業界別コレクション
LT スイート製品	LT スイート製品

\*切り替え元が Maya LT の場合は、Maya LT にのみ切り替え可能です。

現在契約している保守プランの期間にかかわらず、1年または複数年のサブスクリプションに切り替えることができます。

### 2.3 保守プランからサブスクリプションに切り替える場合に、変更できないものは何ですか？

保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える際、現時点では次の変更はできません。

- 支払い方法の変更(例:「都度更新」から「自動更新」)
- アクセスタイプの変更(例:「マルチユーザー」から「シングルユーザー」)
- 「1ヵ月」または「3ヵ月」への利用期間の変更

### 2.4 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えは、いつから可能になりますか？

2017年6月15日以降、保守プランを契約している対象製品を、更新時(保守プランの満了日の最大90日前から)にサブスクリプションへ切り替えられるようになりました。現在の保守プランは元の契約満了日まで有効で、新しいサブスクリプション契約は、保守プラン契約が満了した翌日から有効になります。この特別価格によるサブスクリプションへの切り替えは、保守プランの満了日より前に発注し、切り替え処理が完了する必要があります。

### 2.5 保守プランからサブスクリプションに切り替えるにはどうしたら良いですか？

現在保守プランを契約中の対象製品からサブスクリプションに切り替えるには、オートデスク認定販売パートナーを通して行う必要があります(オートデスク オンライン ストアでは現在対応していません)。

### 2.6 保守プラン時に使用していた製品が切り替え先のサブスクリプションに含まれている場合、切り替え後もインストール済みの永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用できますか？

今回の大幅な割引でサブスクリプションに切り替えるオプションは、保守プランを契約している永久ライセンスを終了し、新規サブスクリプションに置き換えることに同意するという条件のもとに提供されます。通常は、古い永久ライセンスのソフトウェアをアンインストールし、新規サブスクリプションに紐付けられたソフトウェアをインストールする必要があります。しかし、お客様が保守プランで使用している製品を切り替え後にアンインストールし、再インストールする場合、ワークフローが中断し、業務に支障が出てくるケースがあることは、オートデスクも理解しております。

よって、新規サブスクリプションの設定においての指名ユーザーの割り当て(シングルユーザーの場合)またはライセンス ファイルの更新(マルチユーザーの場合)など、特定の条件と制限に従う場合、新規サブスクリプションをインストールまたは配布する準備が整うまでの間、インストール済みの古い永久ライセンスの権利の元で使用していたソフトウェアをそのまま残すことが許可されます\*。ただし、そのソフトウェアの使用とアクセスは永続的なものではなく、永久ライセンスの利用規約の適用範囲外となります。そして、お客様のソフトウェアには期間ライセンスとして該当するサブスクリプションの使用条件が適用されるようになります。つまり、新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールする代わりに、古い永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用する場合でも、新規サブスクリプションの使用条件に従う必要があるということです。

製品アップデートなどの継続的なサブスクリプションの特典を利用するには、できるだけ早めに新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールすることを強くお勧めします。スイート製品から業界別コレ

クシオンへの切り替えなど、一部のケースでは、元の永久ライセンスのソフトウェアをアンインストールし、新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールする必要があります。  
切り替え後のインストール要件やその他のセットアップ操作に関する詳細については、オンライン ヘルプ「サブスクリプションに移行する」の「[切り替えを完了する](#)」セクションを参照してください。また、[こちらの資料](#)もご参考にしてください。

\* アンインストールの要件に対するこの例外措置には、「[旧来の保守付き永久ライセンスからサブスクリプションへの切り替えに適用される特別規約](#)」で定められる制限および条件が適用されます。

## 2.7 サブスクリプションに切り替えた後、保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデータは使用できますか？

保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデータはすべて、サブスクリプションに切り替えた後でも引き続き使用できます。

## 2.8 サブスクリプションに切り替えた場合、アプリケーションとデータはクラウドに保存されることになりますか？

サブスクリプションで入手したデスクトップ ソフトウェアとその製品で使用するデータは、従来どおりお客様のローカル コンピュータに保存されます。クラウド サービスのアプリケーションはクラウド上で実行されますが、データをクラウドに保管するか、ローカル コンピュータに残すかはお客様の使い方次第です。

## 2.9 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後にそのサブスクリプションが満了した場合はどうなりますか？

他のサブスクリプションと同様に、満了後はソフトウェアを利用できなくなります。保守プラン時に使用していた古い永久ライセンスのソフトウェアを継続して利用していた場合は、そのソフトウェアをアンインストールする必要があります。なお、お客様のデータはお客様のものであり、データ ファイルは引き続き保持されます(5.10 を参照)。オートデスク サブスクリプションの新規契約を後から開始する場合は、通常価格でのご利用となります。

## 2.10 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後に、サブスクリプションを別製品に切り替えることはできますか？

保守プランからサブスクリプションに切り替えると、その新しい特別価格で提供されたサブスクリプションを別の製品に変更することはできません。もしも、製品を変更したい場合は、通常価格で新規でのサブスクリプションを購入する必要があります。したがって、切り替え時に適切な製品を選択することが重要です。

## 2.11 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後に、サブスクリプションの契約期間を変えることはできますか？

いいえ、サブスクリプションの契約期間を後から変更することはできません。次回お客様が更新する際に、同じ契約期間で更新する必要があります。例えば、切り替え時に 1 年契約のサブスクリプションを選んだ場合、次回更新時も 1 年契約での更新となります。もしも、期間を変更したい場合は、通常価格で新規のサブスクリプションを購入する必要があります。したがって、切り替え時に適切な期間を選択することが重要です。

## 切り替え価格

**3.1 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合の価格を教えてください。**  
2017 年中に保守プランを契約している製品と同じ製品でサブスクリプションへ切り替えていただく際は、多くの場合そのサブスクリプションの価格は保守プランの更新価格と同額になります。

2018 年以降にサブスクリプションに切り替える場合、切り替え価格は 2018 年 5 月に 5%、2019 年 5 月にはさらに 5% 引き上げられる予定です。このオプションを利用できるのは、サブスクリプションに切り替える保守プランを契約している製品のシートごとに 1 回限りとなります。

**3.2 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えを早めに行うことで、どのようなメリットがありますか？**

切り替え価格が、2018 年 5 月に 5%、2019 年 5 月にはさらに 5% 値上がりするため、サブスクリプションへの切り替えを早めに行うことにより、コストをより多く節約できます。切り替えることにより、今後最長 3 年間はこの更新価格が継続されます。

**3.3 割引価格を 3 年間継続させるには、どのような支払いオプションがありますか？**

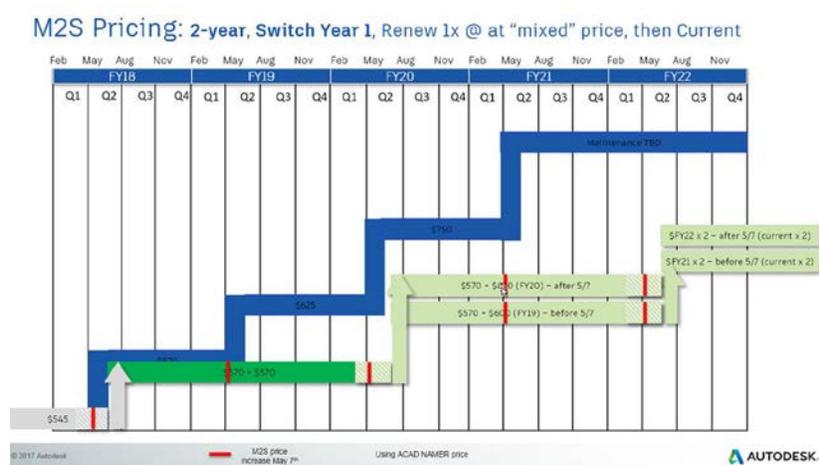
次のオプションから選択できます。

**年間サブスクリプション** - 2017 年 6 月から 2019 年 5 月までの間に切り替えを行った場合は、1 年ごとに同じ価格で、最長 3 年間契約を更新することができます。\*

\* 為替などの影響により変動することがありますことをご了承ください。

**複数年サブスクリプション** - 2 年または 3 年契約を結んで全額を一括で支払うことができます。

参考: 2 年の場合は以下のようなイメージになります。



**3.4 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、4 年目以降の更新価格はどのようにになりますか？**

4 年目以降の更新価格は、推定価格であることをご承知ください。実際の価格は、事業方針により推定価格から変更になることがあります。契約更新を継続する限り、お客様は、保守プランの更新価格や、新規サブスクリプションの価格よりも安い価格でサブスクリプション ライセンスを利用できます。

## 契約管理

### 4.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えると新しい契約番号になりますか？

はい。保守プランをサブスクリプションに切り替える際に、新しいサブスクリプション契約が作成されます。現時点では、既存のサブスクリプション契約に新規サブスクリプションを追加することはできません。

### 4.2 契約している保守プランのライセンスの一部のみをサブスクリプションに切り替えることはできますか？

はい。契約しているライセンスの一部だけをサブスクリプションに切り替えることもできます。

### 4.3 切り替え後の新しいサブスクリプション契約と既存の契約の満了日を揃えることはできますか？

いいえ。現時点では、この新しいサブスクリプション契約と既存の保守プランまたはサブスクリプション契約の満了日を揃えることはできません。切り替えたサブスクリプション契約の更新日は、元の保守プランと同じになります。(切り替えたサブスクリプションの契約開始日は保守プラン満了日の翌日となります。)

### 4.4 サブスクリプションに切り替えた後、購入したクラウド クレジットはどうなりますか？

クラウド クレジットは切り替え先の新しいサブスクリプション契約には引き継がれません。購入したクラウド クレジットは保守プラン契約の満了とともに無効となるため、保守プラン契約の全ライセンスをサブスクリプションに切り替える場合は、既存の保守プランの契約が満了するまでに、クラウド クレジットをすべて使い切ることをお勧めします。

## ソフトウェアの管理と使用

### 5.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、前バージョンで使用できる製品はどれですか？

保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、当該製品の保守プラン契約は終了し、新規サブスクリプション契約を開始することになります。この新規サブスクリプション契約では、[「サブスクリプションの前バージョン対象製品一覧」](#)に記載されている前バージョンを使用できるようになります。

また、保守プランのご契約内容に含まれていた製品が新規サブスクリプションにも含まれている場合は、保守プランの契約期間中にダウンロードしてアクティベートした製品およびバージョンを継続してお使いいただけます\*。サブスクリプションへの移行中、またはサブスクリプション契約が満了するまでの間は、これらの製品およびバージョンを必要なだけ継続してお使いいただけます。新規サブスクリプションの対象となるソフトウェアをインストールしてアクティベートした後は、不要となった以前の永久ライセンスをアンインストールしていただくようお願いいたします。

\*特定の条件や制限を遵守することを条件とし、一部の国では本項目は当てはまりません(日本は当てはまります)。

例 1: 保守プランの前バージョンの使用権で AutoCAD 2012 を使用しており、AutoCAD の保守プランから AEC Collection のサブスクリプションに切り替えた場合は、AutoCAD が AEC Collection に含まれているため、サブスクリプションを更新する限り、AutoCAD 2012 を使用できます。2012 バージョンは「[サブスクリプションの前バージョン対象製品一覧](#)」には記載されていませんが、保守プランからサブスクリプションへ切り替え後も、特典を利用して AutoCAD 2012 を使用することができます。

例 2: Building Design Suite Premium 保守プランの一部として AutoCAD 2012 を使用し、AEC Collection のサブスクリプションに切り替える場合は、AutoCAD が AEC Collection に含まれているため、上記の例のように AutoCAD 2012 を引き続き使用することができます。

ただし、保守プラン契約下で Building Design Suite Ultimate の一部として Inventor を使用していて、AEC Collection サブスクリプションに切り替えた場合は、Inventor が AEC Collection には含まれていないため、保守プランの満了日後は Inventor のいかなるバージョンも使用を停止する必要があります。

## 5.2 サブスクリプションに切り替えたのち、保守プランで使用しているのと同じバージョンのソフトウェアを継続して使用することはできますか？

はい。ほとんどの場合、保守プランの特典としてご使用中のバージョンを、サブスクリプションへの切り替え後も引き続きお使いいただけます\*。この特典は、サブスクリプション契約に基づく権利の一環として提供されます。また、「[前バージョン対象製品リスト\(サブスクリプション\)](#)」に記載されている前バージョンについてもご利用いただけます。詳しくは「[旧来の保守付き永久ライセンスからサブスクリプションへの切り替えに適用される特別規約](#)」にてご確認ください。

\* 特定の条件や制限に従う必要があります。

## 5.3 インターネットへの接続が制限されている場合、どのようなサブスクリプションのオプションを利用できますか？

マルチユーザー アクセスでは、インターネット接続がなくてもソフトウェアを使用できます。保守プランでネットワーク版をご使用されているお客様は、サブスクリプションのマルチユーザー アクセスへの切り替えとなりますので、ソフトウェア使用時のインターネット接続は不要です。一方で、サブスクリプションのシングルユーザー アクセスはインターネット接続が必須のため、保守プランでスタンドアロン版をご使用されているお客様は、この切り替えオプションを利用してマルチユーザー アクセスを利用することができません。マルチユーザー アクセスのサブスクリプションを新規で購入する必要があります。

## 5.4 サブスクリプションへの切り替え後、新しいバージョンがリリースされるたびにアップグレードしなければなりませんか？

いいえ。お客様は好きなタイミングでソフトウェアのアップグレードをすることができます。

## 5.5 新規サブスクリプションを開始する際に、どのような設定が必要になりますか？

新規サブスクリプションのセットアップ方法や、インストール済みのソフトウェアをアンインストールする必要がある場合のガイダンスについては、オンライン ヘルプ「サブスクリプションに移行する」の「[切り替えを完了する](#)」セクションで詳しく説明しています。また、[こちらの資料](#)も参考にしてください。

## 5.6 各ユーザーが新規サブスクリプションの新しい製品やサービスを利用できるようにするには、何を行う必要がありますか？

シングルユーザー アクセスのサブスクリプション製品を利用するには、管理者が指名ユーザーを割り当てる必要があります。エンド ユーザーが製品を起動するとサインインするように求められるので、Autodesk Account で指名ユーザーとして設定されたユーザー ID を入力することにより、ソフトウェアを使用するための権限が認証されます。

マルチユーザー アクセスのサブスクリプションの場合、その多くは、管理者が既存の保守プランのライセンス ファイルまたはスニペットを、新規サブスクリプションのライセンスが含まれる新しいライセンス ファイルに置き換える必要があります。これにより、ユーザーは新しいライセンスを使用してソフトウェアを起動できるようになります。

各ユーザーに、クラウド サービスやサポートなどのサブスクリプション特典を利用させたい場合は、マルチユーザー アクセスの場合でも、管理者は Autodesk Account で指名ユーザーを割り当てる必要があります。詳細については、「[ユーザと権限の管理](#)」を参照してください。また、[こちらの資料](#)も参考にしてください。

## 5.7 切り替え後、指名ユーザーは新規サブスクリプションに自動的に割り当てられますか？

いいえ。保守プランのシートのユーザーは自動的に新規サブスクリプションに割り当てられません。管理者は切り替え先の新規サブスクリプション用に、指名ユーザーの作成や、デスクトップ ソフトウェア、クラウド サービス、サポートへの割り当てを行う必要があります。詳細については、「[ユーザと権限の管理](#)」を参照してください。

## 5.8 保守プランがサブスクリプションに切り替えられたことは、どのようにして通知されますか？

現在の保守プランが満了し、新規サブスクリプションが開始されると、新規サブスクリプションと次の手順が記載された電子メールが管理者に送信されます。しばらくの間、切り替えられたライセンスには、ライセンスが削除されるまで「切り替え済み」というステータスが Autodesk Account 上で表示されます。新しいサブスクリプション契約は、保守プラン契約が満了した翌日から有効になります。

## 5.9 永久ライセンスを失効したり、サブスクリプションの契約を終了したあとも、オートデスク製品で作成したファイルを開いたり編集したりすることはできますか？

はい。ファイルを表示できる無償のビューアの提供に加え、ほとんどのオートデスク製品で、データ ファイルをメーカーに依存しないファイル形式で保存することが可能です。そのようなファイル形式が利用できる場合、他社のソフトウェアとデータ交換したり、サードパーティーのデータ変換プログラムを使用してオートデスクの標準のファイル形式に変換し、お使いのシステムで編集することができます。

## 5.10 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、サポート特典に何か変更が生じますか？

オートデスクでは、サブスクリプションメンバーに対するサポート体制の強化に常に取り組みしており、お客様が最も必要なときに十分なサポートをすばやく容易に得られるよう、分かりやすい方法での提供に努めております。ほとんどの保守プランの特典はサブスクリプションの特典に含まれております。また、サブスクリプションに切り替え後は、予約制電話サポートが利用できるようになります。お客様のご都合の良い時間を WEB でご予約いただきますと、オートデスクの技術サポート スペシャリストが直接その時間にお客様へお電話いたします。このサービスは、サブスクリプション契約の製品をご利用いただいているすべてのお客様が追加料金なしでご利用いただけます。

**5.11 保守プランからサブスクリプションに切り替えた後、追加の情報を得られるサイトはありますか？**  
どのようにライセンスをセットアップしたらよいかなどの情報は [Autodesk Knowledge Network](#) で得ることが可能です。

また、参考となる WEB サイトや資料の一覧を以下に記載いたします。

サブスクリプションへの切り替えに関する総合情報ページ

[www.autodesk.co.jp/m2s](http://www.autodesk.co.jp/m2s)

前バージョンの使用についての規約詳細

[www.autodesk.co.jp/m2s-zen-version](http://www.autodesk.co.jp/m2s-zen-version)

切り替え時のアカウント管理

[www.autodesk.co.jp/m2s-kanri](http://www.autodesk.co.jp/m2s-kanri)

サブスクリプション規約 シングルユーザー向け

[www.autodesk.co.jp/subs-single](http://www.autodesk.co.jp/subs-single)

サブスクリプション規約 マルチユーザー向け

[www.autodesk.co.jp/subs-multi](http://www.autodesk.co.jp/subs-multi)

今お使いのバージョンのまま切り替えをご検討のお客様へ

[https://damassets.autodesk.net/content/dam/autodesk/www/campaigns/m2s/M2S\\_PreviousVersionUse2017Aug-JP.pdf](https://damassets.autodesk.net/content/dam/autodesk/www/campaigns/m2s/M2S_PreviousVersionUse2017Aug-JP.pdf)